

骨子

経営者がリードする
“質の高い”職場で
コンプライアンス推進を!!

株式会社コーチ・ジネッツ
代表取締役 吉里 彰二

コンプライアンス推進の悩み

◆推進プログラムが完璧でもコンプライアンス違反事例が発生してしまう

◆経営の最重要事項の一つであるとは重々理解しているが、

✓ルールに縛られ、のびのびと活動できない

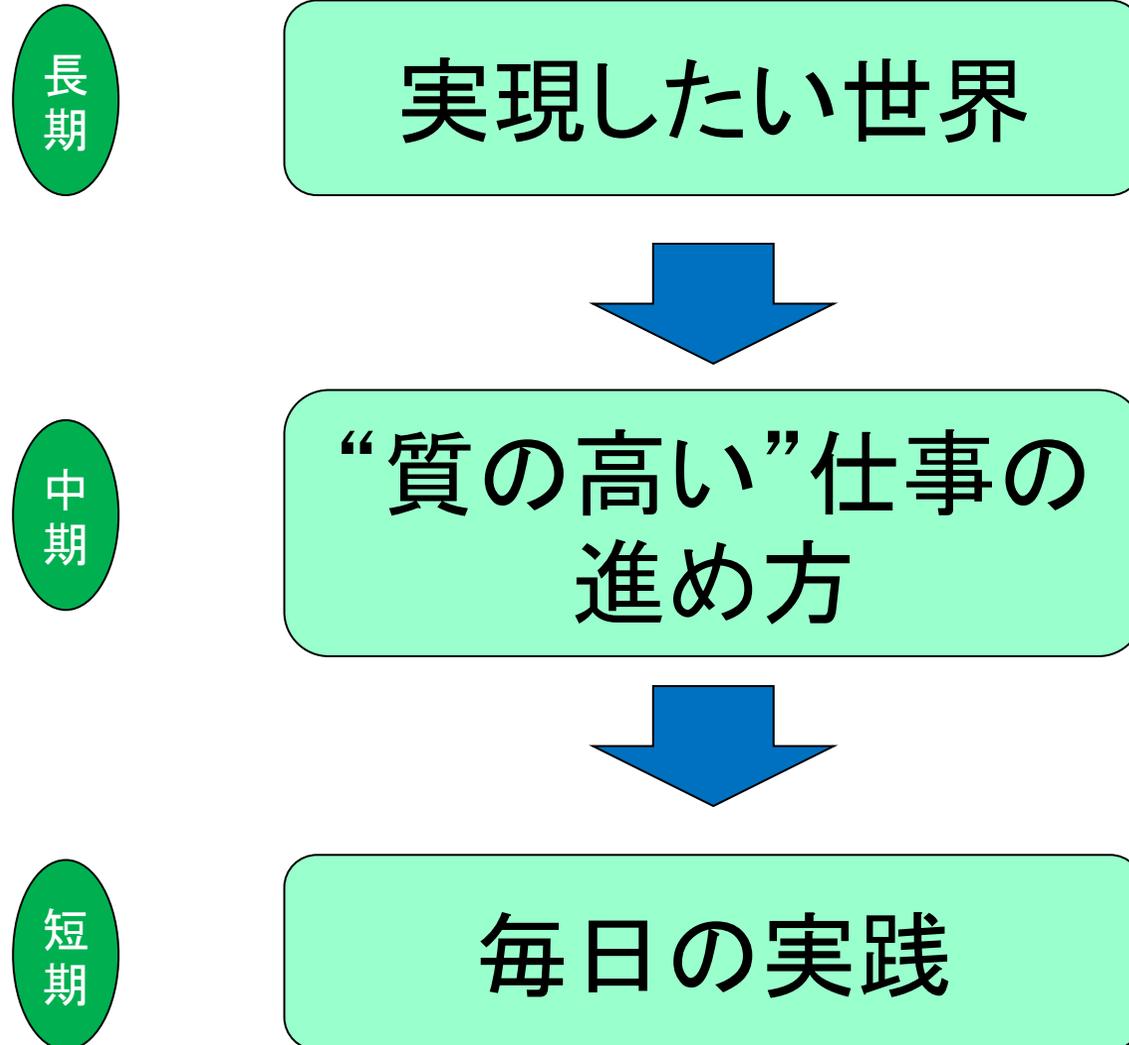
✓堅苦しい制約と認識されがちである

✓厳しすぎるので何とかならないかと思ってしまう

コンプライアンスとは

- ◆ルールに縛られ縮こまるのではなく、
当たり前前のことを当たり前前、
のびのびと効果的・効率的に業務に取り組み、
⇒最大のreturnを手取るためのもの
- ◆ミス、不良品、連絡不足、ルール(法律)違反に
起因した 状況を修復する為には、余計な時間、
人手、そして金がかかる。
⇒このコストをいかに発生させないかが鍵

本題



実現したい世界

話してくれてありがとう

(聴いてくださってありがとうございます)

不都合な話、失敗、コンプライアンス違反行為等をメンバーがやっとの思いで報告した時に、あなたは叱りつけたり、罵声を浴びせますか。それとも、

「(報告しようかしまいか迷って躊躇していたのだろうね)話してくれてありがとう。今後の対応は一緒に考えよう」と寄り添いますか。

自分が上司に報告する時を思い描いてみてください。

職場だけではなく、**家庭**ではいかがでしょうか。

『“質の高い”仕事の進め方 I』

「手段・やり方」を捉える**三つの視点**

①「自己」

自己の客観視、自己の影響力(の有無・程度)の自覚
「自分に原因があるのかも…」

②「環境」(例えば相手)

見方の違い。相手の行動パターン、好みに応じた対応

③「目的」

最上位目的は「経営理念」と「自己の志」

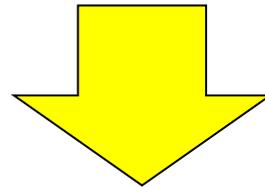
『“質の高い” 仕事の進め方 II』

情報の共有化の**三つの**深度

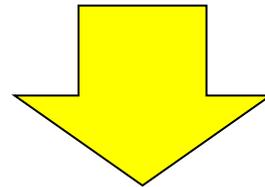
- ① 「**事実情報**の共有化」
文字、数字が伝わる。知っている
- ② 「**意味**の共有化」
目的や、背景情報で意味がわかる
- ③ 「**考え方の波長**の共有化」
思いの共有化—共感、感動

ミッション・理念の浸透の悩み

トップによるミッションの発信
年頭の挨拶、社内報 等



文言は知っているけれど...
本当に浸透しているのか...



解決の切り札はこれだ！

『“質の高い” 仕事の進め方 Ⅲ』

仕事への取組み姿勢の**三つの方向**

- ① 相手と誠実に**向き合っている**か
まず自己に正直に、そして相手に正直に
対「人」「仕事」「人生」「社会」
- ② 必要な場合には、相手に誠実に**寄り添っている**か
積極的傾聴(共感的理解、受容、誠実)
アサーション(正直に、率直に)
- ③ 相手に誠実に向き合っていない ということはないか
自己の取組み姿勢を**振り返る**

『できる人がやっている“質の高い”仕事の進め方』糸藤正士 著、鳥影社

職場のありたい姿

◆ 礼節の中にも、**オープン・マインド**で、
自らの考えを本音で語れる
自由闊達な職場風土

◆ 程よい緊張感のある、
切磋琢磨する職場

毎日の実践

◆笑顔で放つ魔法の言葉

会話はこれで締め括りましょう

- 素晴らしいね
- 素敵ですね
- 凄いいね

今すぐやめよう

- だけど
- でも
- どうせ

まとめ

各人の知識、感性、判断力等には自ずと限界があります。職場の**縦横斜めの関係**で相互に補完することで不都合な出来事やミスも防ぐことができます。

これこそが当たり前のこととして**自然に組み込まれた**コントロールなのです。

こんな**自浄作用**の効いた職場でのびのびと働きましょう。

以上